

<保護者の皆様へ>

保護者の皆様、お子さんの進級おめでとうございます。今年度も進路指導主事を担当します、3学年副担任の宮内雅弘と申します。よろしくお願ひします。

ここまで新学期が始まり1週間がたちましたが、その間、対面式や新入部員勧誘・委員会活動など行われ、学校生活が本格的に動き始めました。まず3年生に対して4月9日の学年集会の折、「これからの進路達成に向けて君たちに求めること」として下記の内容をお話ししました。

- * 「日々の提出物の完璧提出」→うっかり「まあいいや」はなし!
 - * 「日常生活(活動)は全てオンタイム行動」→まずは給食食べ始めを25分までに!
 - * 「相手に伝わる挨拶返事」→相手に伝わらなければ「やってない」と一緒!
 - * 「欠席日数(遅刻・早退も含め)を減らす」→数値的データは変えようがないもの!
 - * 「服装頭髪身なりは常に『入試に耐えうる』状況」→「服装は心の鏡」大切です!
- という5つのことが当たり前に来た状態で、これからの進路決定に向けてがんばってほしいと思います。

さて、今年度の進路通信のタイトルも昨年同様「15の春」としました。このタイトルはこれからの長い人生最初のターニングポイントとなる節目と考えたことからつけました。皆様もご存じの通り、今年度から県立高校の入試制度が変わります。お子さんやご家庭の皆様が今までとは異なる様々な情報を確実に把握した上で、15の節目を大切に、そして「15の春」を生徒全員が笑顔で迎えられるよう、教職員一同全力で取り組んでいきます。これから1年間、進路に関する様々な情報をこの紙面を通してお知らせしていきますので重ねてよろしくお願いいたします。

<今後に向けて家庭へのお願い>

今後の進路に関する手続き申し込みに関して、お子様やご家庭へお願いしたいことが5つあります。

1. 提出期限を厳守する。(時間も含めて、日頃から)
2. 進路に関する様々な判断は、家庭の中でしっかり相談して決める。子ども任せにしない。しかし、親の思いだけで決めさせない。
3. 進路に対する考えは人それぞれ。自分の決めた進路に自信をもち、他人の進路への考えを尊重する。そのためにも、日頃から進路に対する考えをしっかりと持つことが大切。
4. 申込書関係の記載は「全て保護者が記載」する。保護者の欄のみ先に記載し、「後は自分で書きなさい」というのはやめてください。過去にそれが元で三者相談で意見の食い違いなどがありました。
5. そして、何よりも「このおたよりを含めた学校からの配付物をおうちの人が確実に見ている」ことです。

お子さんは日々、何かしらの配付物を持ち帰っているはずですが、それをおうちの方々がきちんと把握できている状況でなければ、重要連絡事項も抜け落ちてしまいます。

希望進路は1人では実現できません。ご家庭、学級、学年という集団生活単位での団体戦です。

<進路コーナーについて>

昇降口ホールに「進路コーナー」を設置しております。進路に関する様々なポスター、パンフレット見本等各種申し込み見本も展示してありますので、授業参観など学校へお越しの際にご覧ください。